



# 今日から役立つ脳卒中の 予防・治療の最新情報

診療部長  
脳神経外科

おぎはら こうたろう  
荻原 浩太郎



『今日から役立つ脳卒中の予防・治療の最新情報』というテーマで脳神経外科医4名が講演を行いました。タイトルはそれぞれ『脳卒中对策基本法の下での脳卒中診療』、『知っておきたい！脳卒中の新常識』、『脳卒中の気づき方～早期発見、早期治療のために』、『脳卒中の予防のためにすべき事』です。

新型コロナウイルス感染症第8波が予測される中での開催となり、感染対策として参加定員を先着100名といたしました。約200名の方から申し込みがあり抽選とさせていただきました。市民の皆様の健康意識の高さを再認識すると同時に一日も早い新型コロナウイルス感染の収束を願わずにはられません。

『脳卒中对策基本法の下での脳卒中診療』においては超高齢社会へ突入した日本において国民の健康寿命を延伸させ、国全体の負担を軽減させるためには、国家戦略として脳卒中对策に取り組む必要があること、そしてそのために作られた脳卒中对策基本法に基づいて今まさに脳卒中診療が大きく前進し始めたことをお話ししました。

『脳卒中の気づき方～早期発見、早期治療のために』では早期発見のために気をつけるべき症状と脳卒中を誰にでも起こる病気として日頃から認識しておくことの重要性が強調されました。(図1参照)



**脳梗塞の治療は時間が大事！**

より早く脳梗塞に気づくための4項目  
F A S T  
(Face, Arm, Speech, Time)

顔のゆがみ 腕の脱力 喋りにくさ 時間が勝負！

【図1】

『知っておきたい！脳卒中の新常識』では、ここ数年で発表された研究に基づいてカテーテルを用いた脳梗塞の治療(切らずに直す治療)の適応が広がり、より多くの患者さんへ最新の治療が提供できるようになったことをお伝えしました。

最後の『脳卒中の予防のためにすべき事』においては、いくら治療法が進歩してもやはり脳卒中はその予防が最も重要であり、そのためには動脈硬化の予防(生活習慣病の嚴重な管理)と不整脈(心房細動)に対する治療がポイントであることが述べられました。

今回の公開講座が市民の皆様の健康寿命の延伸のきっかけにつながる事をこころより願っております。

